

瓢箪山周辺 ~ゆにひえの息吹を感じる~

瓢箪山駅周辺は縄文から古墳時代の多くの遺跡が残されている地域です。踏切を南北へ通る道は「東高野街道」です。1100年代には、京都から高野詣で賑わいました。それ以前も海岸沿いの道であった名残があちらこちらに残っています。南北朝時代、この道を楠木正行、足利方の高師直たちが駆け回り、大阪夏の陣の戦いの時、徳川家康・秀忠親子もこの道を通っています。二本松古墳の東側の山手の道にはたくさんの桜が植えられています。コースの途中、大阪平野が一望できる場所が多々あります。

まちとびだせ!

東大阪 ゆととMAP



瓢箪山駅奈良行きホームの中ほどにあるこの石碑は、大阪歌舞伎界の第一人者であった初代中村雁次郎が正行の墓参に訪れたことと大正天皇の御大典を記念して鷹治郎によって大正4年(1915)に建てられた。裏面に「大日本史所蔵大正四年十一月大典記念」と刻まれています。

河内寺は、古代の河内を支配した河内直(連)の氏寺であり、出土した軒瓦から飛鳥時代に創建され鎌倉時代まで存在したことが知られています。昭和42年(1967)以降の調査で東回廊や講堂跡が発見されました。その後金堂跡と考えられる基壇や礎石の並びが確認されました。塔跡は未確認ですが、伽藍配置は塔・金堂・講堂が南北に並ぶ四天王寺式と考えられます。平成29年(2017)より史跡公園として整備され、市民の憩いの場として公開されています。

昭和47年(1972)に、山畑古墳群の中に建てられました。敷地内には、双円墳の山畑22号墳の他5基の古墳(市文化財に指定)があり、野外園として活用されています。河内平野を一望できる標高約100mの場所に位置し、生駒山の府民の森に通じるハイキングコースの途中にあり、散策の途中に立ち寄る場所としても利用されています。
入館料/一般50円 高校・大学生30円
小学生・中学生20円
※特別展は、別料金になることがあります。
開館時間/9:30~16:30(入館は16:00まで)
休業日/月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)・祝日の翌日・年末年始
※展示準備期間に休館することがあります。
TEL/072-984-6341 FAX/072-986-1432

六万寺の半堂池は明治より続いている河内バナ(ハラバナ)の発祥の地でもあります。明治15年の記述には、大小164カ所の池がありました。当時は貴重なタンパク源でしたが、現在も「河内バナ」(ハラバナ)が養殖され、食用の他に釣り用としても全国に出荷されています。